

ドクターに聞きました

在宅医療で、 想いを叶える

在宅医療とは

病院やクリニックへ通院できない患者さんが、住み慣れた家や施設にしながら受けられる医療のことです。医師や看護師が、医薬品や医療機器を積んだ車に乗って、家や施設に来てくれます。かかりつけの病院やクリニックの医師が在宅医療をしてくれることもあれば、当院のような在宅医療専門のクリニックもあります。在宅医療にご興味がありましたら、「通院するのが難しくなってきたので、在宅医療をしてもらえますか？」と医師に聞いてみてください。医師に聞きたい場合は、病院の中にある医療連携室のスタッフに聞いても良いですし、お住まいの地域の区役所の職員さん・ケアマネジャーさん・訪問看護師さんに聞いてみるのもおすすめです。

在宅医療の実際

在宅医療の現場では、CT検査・MRI検査・内視鏡検査・手術のように大きな医療機器を使った検査や治療はできませんが、病院と同じレベルで血液検査・尿検査・心電図検査・エコー検査・緩和ケアを受けることができます。時代になりました。これは、医療機器が小型化したことが大きな要因になっていると思います。大好きな家や施設で、愛するご家族・ペットと生活しながら、定期的な訪問診療も受けられるのは、在宅医療の大きな魅力です。

ACPとは

ACP（エー・シー・ピー）は、Advance Care Planning（アドバ



コールメディカル
クリニック若松 院長
大垣 拓郎先生

日本救急医学会 救急科専門医。緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会を修了。救急医・在宅医としての経験をもとに、優しく温かい医療をめざしています。



コールメディカルクリニック若松
北九州市若松区青葉台南 2-16-2
TEL 093-482-8510

ンス・ケア・プランニング）の略称です。これから先、どう生きたいのか・何をしたいのか・何を食べたいのか・どこに行きたいのか・誰に会いたいか・・・これらをみんなで集まって話し合うこと。これがACPです。

ACPを深めていくと、患者さんの尊厳が守られ、ご家族の尊厳も守られ、まわりの支援者の足並みがそろっていきます。尊厳をキーワードにすることで、患者さん・ご家族の安心感・満足感が高まり、支援者に一体感が生まれます。

想いを叶える

「想い」とは、患者さん・ご家族が「何よりも大切にしたいこと」、「どうしても叶えたいこと」です。日常診療を通して「患者さんの想い」を見きわめていくことが、在宅医療の大き

な使命です。ただし、つつい「患者さんの想い」ばかりに目が向きがちになることへ注意が必要です。在宅医療は日常生活の場で行われますので、ご家族の緊張・不安・ストレスが途切れることなく継続することにも目を向ける必要があります。「ご家族の想い」にも気を配ることが在宅医療の深みを増し、より良い医療の提供につながると考えています。

